



幼稚園だより 7月号

令和7年7月1日
千代田区立昌平幼稚園
園長 大川 美紀子

命のきらめきに出会う園庭で ～心が動く体験を重ねて～

園長 大川 美紀子

6月半ばには、5歳児きりん組が成長を楽しみに世話や観察をしていたアオムシが羽化し、優美なアゲハチョウとかわいらしいモンシロチョウが誕生しました。それも、何と同日に！歓喜あふれるきりん組の子どもたちでしたが、2頭いたアゲハチョウのうち1頭が羽根を丸めたままなかなか広げられずに、飼育ケースの底面にうずくまっていることに気付きます。心配そうに見つめる子、「頑張れ」と応援する子、羽根を乾かすために上る物が必要だと考え園庭で探した木の棒を飼育ケースの中に立てかける子、各々に思いをもって関わっていたきりん組さん。じきに、羽根が丸まったアゲハチョウは懸命に棒を上っていき、その姿を固唾を呑んで見守る子どもたちの表情が印象的でした。小さな命が生きようとする力強さを感じたことでしょう。この日の午後には、アゲハチョウとモンシロチョウを園庭に放ちました。空高く飛んでいくチョウを目で追いながら、「また来てね～」「元気でね～」と手を振っていたきりん組でした。自然界では鳥に食べられてしまったり、虫が寄生したり、羽化の途中で落下してしまったりするなど様々な要因があり、チョウが羽化する確率はモンシロチョウで2%、アゲハチョウはなんと0.6%だそうです。そんな希少な現象に出会えるのも、園庭があつてのことです。



飛び立つチョウに手を振る子どもたち

園庭の自然は多彩で、四季折々に変化しつつ、雄大であると同時に繊細さに富み、私たちに感動や不思議の念を呼び起こしてくれます。

今年の園庭では例年になく枇杷が豊作で、6月半ばにはたわわに実った実を収穫しました。全園児が食してもまだまだ余っており、お家にお土産で持ち帰ったり、昌平小学校と昌平保育園にお届けに行ったりし、多くの方々に喜んでいただけて子どもたちも嬉しそうでした。実が付いたまま切り落とした枝を持ってみると思いの外重たくて驚いたり、実を触ってみると産毛が触れて柔らかいことに気付いたりします。実際に見る、触れるといった実体験でしか得られない感動が、ここにあります。

少し前になりますが、4～5月には園庭の田んぼでメダカを数匹発見！昨年度までは田んぼにメダカはいなかったもので、職員も子どもたちも「なぜ？」と驚きと疑問の現象でした。子どもたちがメダカをすくって、隣のトンボ池（ここにはたくさんのメダカが暮らしています）に移してくれたのですが、泳ぐのが速いメダカを捕まえるのは至難の業でした。「メダカがジャンプしてトンボ池から田んぼに行った」とか「誰かがトンボ池のメダカを捕まえて田んぼに逃がした」など、様々な予想が飛び交い、最終的には鳥が啄んでトンボ池から田んぼに落としたという説が有力なのですが、真相は分からぬままです。生成AI等の普及により、調べれば答えに出会えることが多い昨今ですが、こうした不思議な現象に出会って、答えが見付からないことを推測したり想像したりするのも貴重な体験です。

さて、6月の田んぼではタニシや藻（アオミドロ）が増殖中です。きりん組では、取り除いた方がよいのか、見守っていてよいのか、お世話の仕方を農家の方に聞いてみようということになり、田植え前にご指導いただいた茨城県の米農家の方にオンラインで尋ねてみました。藻が増えすぎるとよくないこと、小さなタニシなので赤ちゃんだろうということ、タニシは藻を食べてくれることなどを教えてもらい、気を付けて観察をしているところです。

これから暑い夏がやってきます。夏休み中も、長時間保育や預かり保育があり、園では保育を行っています。子どもたちが植えた夏野菜がぐんぐんと伸びて実を付け始め、稲も日増しに生長してきている園庭です。夏ならではの環境や現象と出会い、心を動かす体験を大切にしていきたいと思います。



URL <https://onl.bz/A4ShEEc>

ホームページはQRコードまたはキーワードで検索を

今月のねらい

3歳児 ひよこ組

【ねらい】

- 水遊びの支度の仕方を知り、自分でできることをしようとします。
- 水遊びやプール遊びに取り組む中で、自分のしたいことを楽しみ、水の感触や心地よさを味わい、水に親みします。
- 保育者と一緒に、栽培している花や野菜の水やりや観察をし、その生長を楽しみにします。

【長時間保育の重点】

- 保育者に見守られながら、安心して生活したり、遊びを楽しんだりします。

4歳児 うさぎ組

【ねらい】

- 暑い時期を健康に気持ちよく過ごすために必要なこと(水分補給、休息、汗の始末、着替え等)が分かり、自分でしようとします。
- 戸外で水の感触を味わいながら試して遊んだり、友達と一緒に解放感を味わいながらプールで遊んだりして、夏ならではの遊びを楽しみます。
- ナスやピーマン、バケツ稲、朝顔、ペパーミント等の生長を楽しみにしながら世話をすることを通して、自分たちの栽培物を大切に育てようという思いや、関心を高めていきます。

【長時間保育の重点】

- 夏の過ごし方を知り、夏ならではの遊びを楽しみます。

5歳児 きりん組

【ねらい】

- 熱中症予防のために必要な事柄や汗をかいた時の始末の仕方が分かり、夏の暑い日を健康に気持ちよく過ごすために必要なことを自分でしようとします。
- プール遊びや水遊びなど夏ならではの遊びを通して、水の感触を味わいながら、繰り返し試したり、水中で様々な動きに挑戦したりすることを楽しみます。
- 飼育物や栽培物を大切に育てようという思いをもって世話をし、変化や生長に気付いたり、関心を高めたりします。

【長時間保育の重点】

- 友達や保育者と一緒に、夏ならではの遊びを楽しみます。

今月の昌平タイム

(生活のめあて) 汗をかいたら、ハンカチで拭こう

(今月の歌) せみ

今月の安全指導

(生活) 川や海、プールで遊ぶ際の約束、花火をする際の約束など、夏季休業中の過ごし方や約束を知り、安全に楽しく夏を過ごそうという気持ちを高めます。

(交通) 道路や駐車場、車のかけで遊ぶことの危険性を知り、安全に気を付けて遊ぶことへの意識を高めます。

今月の避難訓練

地下プールで遊んでいる時に地震が起きたことを想定して訓練を行い、プール遊び時の安全な身の守り方・避難の仕方を学びます。

今月の食育指導

夏野菜について知ること、食材に対する興味や関心を広げ、食べることへの意欲を高めます。